

名古屋大学エネルギーマネジメント研究・検討会  
平成21年度 エネルギーに関する文理融合研究合同成果報告会  
第5回 名大発一省エネ推進と地球温暖化防止

国際的な公約を遵守するにあたり日本が国をあげて二酸化炭素排出の削減に取り組む中、大学が、その研究・教育活動が活発化すればするほど二酸化炭素の排出量を大幅に増やしてしまうという非常に困難な状況にあることがわかってきました。これは、大学が多種・多様な研究を進める多くの研究室から構成されており、トップマネジメントにより対策を進めることができる企業とは大きく異なり、家庭など民生部門と同様のガバナンス上の問題をかかえていることによります。

名古屋大学では、このような状況を踏まえ大学として社会に対して範を示せるような対応の具体化に向け、他大学に先行し、エネルギーマネジメント研究・検討会を立ち上げ、積極的に学内における省エネルギー対策の実施に向けた検討を実施しております。本学では、部局間の枠を越えた教員ならびに事務職員を交えた研究会を重ねることで、理系、文系、事務・技術系のアイデアと経験を持ち寄り、実証データに立脚した省エネ対策の指針の策定と実施に努めることで成果をあげて参りました。

今年で5回目の節目を迎えたこの成果報告会では、エネルギーマネジメント研究・検討会で進めてきた研究・検証の成果と名古屋大学における二酸化炭素の排出削減に向けた取組をご覧いただき、名大発の地球温暖化対策を広く社会と共有し、そのあり方を共に考え実践して行きたいと考えております。

開催日： 平成22年3月16日（火） 14:00-17:00

会場：名古屋大学経済学部第一講義室（空気攪拌ファンによる空調効率化プロジェクト実践場所）  
【交通案内】 地下鉄名城線名古屋大学駅1番出口 出て右正面建物からお入り下さい。

研究成果報告：エネルギーマネジメント研究・検討会

【 プ ロ グ ラ ム 】

- 14:05- 報告会開催にあたって 奥村 滋夫（施設管理部長）  
「エネルギーマネジメントの取り組み状況と今後の課題について」  
加藤 好孝（施設管理部施設管理課）  
恒川 和久（施設整備推進室）  
「名古屋大学における ESCO 事業の取り組みと成果・課題」  
山口 博行（参事）、  
藤丸 隆志（医学部・医学系研究科経理課）  
「名古屋大学の国内クレジット事業への参加」 加藤 千喜（医学部・医学系研究科経理課）  
「実験・研究装置の省エネ取り組みについて」 熊沢 正幸（全学技術センター）

《 休 憩 》 10分

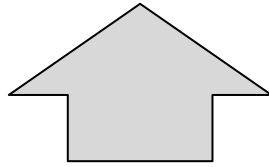
- 「CO<sub>2</sub>削減に向けた本学のグリーン IT 推進への取り組み」  
荒山裕行（経済学研究科）  
「省エネ行動促進のための情報収集と情報提示手法」  
～大学におけるCO<sub>2</sub>削減への学術研究成果の活用～  
片山 正昭（エコトピア科学研究所）  
河口 信夫（工学研究科）  
本吉 忠寛（教育発達科学研究科）

17:10 閉会の辞 藤井 良一（施設・安全担当理事）

17:20- 《 情 報 交 換 会 》 会場：豊田講堂中2階ロビー

主催：名古屋大学エネルギーマネジメント研究・検討会

お申込み先：名古屋大学施設管理部施設企画課総務掛 小宮山 sis-sou@post.jimu.nagoya-u.ac.jp



**FAX : 052-789-2120**

名古屋大学 施設管理部施設企画課総務掛 行

3月10日(水) 締切

エネルギーマネジメント研究・検討会

## 報告会参加申込

大学等組織名 \_\_\_\_\_

職名	氏名	情報交換会	メールアドレス
		出席・欠席	
		出席・欠席	
		出席・欠席	
		出席・欠席	
		出席・欠席	

注) 情報交換会(会場:豊田講堂中2階ロビー)についていずれかに○をつけて下さい。

出席される方は、当日参加費(3,000円)を徴収させていただきます。